

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://330a.jp/>



2013 For the future



- 被災地福島を取材 広報委員会
- 330-A地区 第59回年次大会を開催 地区キャビネット
- キャビネットだより 地区委員会
- 地区内クラブだより 地区内各クラブ
- ハンブルク国際大会 国際大会参加委員会
- 編集後記 広報委員会委員

330-A地区 第59回年次大会を開催



2013年4月20日(土)都内港区にある東京プリンスホテル“鳳凰の間”に於いて「ライオンズクラブ国際協会330-A地区第59回年次大会」が行われた。大会のテーマは「変革への挑戦」今期のガバナーズローガン「チェンジ、チャレンジ、アクション330-A」とする呼びかけに、同会場には午前9時から行われた代議員会に地区内の各クラブを代表する代議員484名が登録を行い参加した。午前10時より行われた代議員会では次期地区ガバナーにL鈴木定光(東京江東南LC所属)、また次期第1副地区ガバナーにはL塩月藤太郎(東京田無LC所属)を選出したほか、次期第2副地区ガバナーに立候補した候補者に対し、投票による選挙が行われた結果、L近藤正彦(東京八王子陵東L

C所属)が第1回目の投票で投票総数469票の過半数以上となる290票を獲得して、次期第2副地区ガバナーとなった。この間、行われた各分科会に於いて、経理分科会にて2013-2014年度地区クラブ会費として1ヶ月2,000円拠出の件、2013-2014年度地区費として1メンバー1ヶ月680円拠出の件、家族メンバー1ヶ月340円、2013-2014年度地区大会費として1メンバー1ヶ月150円拠出の件などの地区ガバナー提案が決議されたほか、広報/IT合理化・事務局緊急対応分科会に於いて2013-2014年度330-A地区アクティビティスローガン決定の件は、東京江東南LCから提案された「育もう、広げよう奉仕の心」が決議された。



風評被害に苦しむ 被災地福島を取材

地区広報委員会



「40周年記念式典を取りやめて避難者を支援」と聞き現地を取材

広報委員会では東京尾張町ライオンズクラブが、40周年の記念式典の代わりに原発事故により避難している福島県浪江町の子供たちと保護者や先生を励ますために現地を訪れ、さらに東京へ招待して“東京スカイツリー”や“浅草の花やしき”などを見学する1泊旅行をプレゼントした。(前号にて紹介)という情報から、現地のテレビ局にコネクションのある広報委員会特派員L津守勝男(福島県出身)を案内係として現地を取材した。

福島県全体の地理と放射能による農産物の被害やヒトへの内部被ばくについて学ぶ

最初に訪れた現地のテレビ局「テレビユー福島」では報道局長から事故当時から現在までの放射能被害の実態を詳しく聞くことができた。まずは日本の中でも3番目に大きな面積を持つ福島県全体と福島第一原発並びに第2原発の位置を確認、そして避難指示区域と警戒区域などを確認、そして県内小学校の年間被ばく線量推定から、県内では毎日、各地の放射線量が報道されていることなど詳しい説明を受けた。またとかく福島県産というだけで敬遠されている野菜など農産

物のモニタリング結果、同じく山菜やキノコのモニタリング結果、さらにはヒトが受けた内部被ばくの放射線量など詳しく解説していただいた。この内容はぜひとも詳細にお伝えしたいが、紙面の都合上、一言でいうと「現在は心配されるほどの状態はなく安全である」と言える。具体的には県内で生産されている野菜はほとんど安全基準を十分クリアしており、内部被ばくについても、心配されている住民への影響はほとんどないという裏づけがある。さらに同テレビ局の社員によるモニタリング結果(携行した積算量計データ)でも十分な安全性が証明されている。同報道局長の話では「心配しているのはむしろ風評被害」「他県から見る県のイメージが心配」とのこと。

地元の果物農家を訪れ、着実に復興への努力を感じる

われわれは同県内で桃や梨、サクランボなどを生産する農家を訪れて話を聞くと、こちらでも表情は明るく「生産している果物に全く心配はない」と堂々とした様子で話してくれた。こうした農業従事者による復興への努力は、細かな作業や準備、情報交換や報告など、毎日着実に続けられている。

東北六魂祭2013

今こそ、魂の力を

2011年3月11日の大震災から、2年がたちました。東北の6大祭りが団結し、復興への狼煙を挙げた東北六魂祭は仙台市では約37万人、盛岡市では25万人もの人々を集め、東北人の不屈の魂を世界中に示す、大きなきっかけとなりました。第3回目を迎える東北六魂祭は2013年6月1日(土)・2日(日)の二日間、舞台を福島市に移して行われた。

<http://www.rokkon.jp/>



開幕には航空自衛隊のブルーインパルスが空に大きな“桜の花びら”“日本一大きなハートマーク”“四つ葉のクローバー”“アローヘッド(矢)”などを描いて被災者らを励ました。東北六魂祭を紹介する上記のホームページでは、開催地福島は“福が訪れる島”今福島が置かれている困難はより大きな幸福となつてこの国に帰ってくるはず“災い転じて福となす”などと、「祈」「希」に続き3回目の東北六魂祭の今年のテーマ「福」を書いた少年書道家と共に紹介している。





第1原発の西北に位置する伊達市の放射能対策課での話

さらに今なお居住が制限されている飯館村の隣に位置する伊達市の放射線対策政策監の話でも「今一番頭を悩まされているのは風評被害」とここでも県のイメージを心配していた。市役所に隣接して設けられた農産物モニタリングセンターも閑散とした様子。今でももちろん市内各地で除染作業が続けられているが、大半は市民からの要望を受けて行っている。

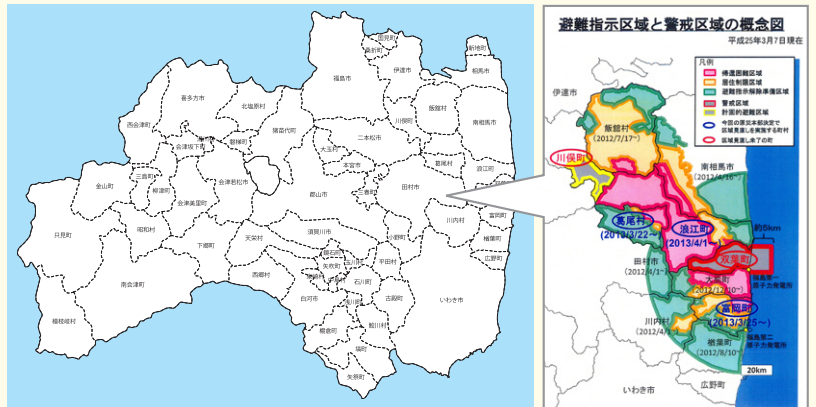
津波の跡がまだまだ生々しく残る警戒区域、居住制限区域。

我々はさらに第一原発に近い飯館村、川俣町、浪江町に向かった。飯館村は居住制限区域、川俣町は計画的避難区域である。人が住んでいる様子のない街をさらに進むと津波のあとが今でも生々しく残っている。我々は日暮れとともに引き返すことにしたが、今回の取材を通じて得た知識として、“福島県と言う大きな県のごく限られた一部の地域で起きた事故が大きな県の全体に深刻な風評被害をもたらしている”という実態を目の当たりにすることになった。

ストレスの多い避難生活は避難者に体調の悪化など二次被害をもたらしている。

風評被害のほかにもストレスの多い避難生活者の中には体調を崩し、そうしたストレスが原因で亡くなる人も少なくない。東京尾張町ライオンズクラブのような避難者に対する奉仕活動は、われわれができる活動の一つだとも思われる。また、福島県に対する負のイメージを払しょくし、同県や同県民に対する温かい励ましを広げていかなくてはならない。ちなみに6月1日(土)、2日(日)では同県民挙げ

ての大イベント“東北六魂祭2013福島”が福島市で開催される。現在強制的に避難されている方は約10万人、内約3万人は県外居住、さらに自主避難者は約5万人いる。(取材:広報委員会L柴田誠、L津守勝男)



福島県浪江町の子供たちを東京へ招待

東京尾張町LC

東京尾張町ライオンズクラブの有志メンバーが福島県浪江町浪江小学校の子供たちを東京へ招待するために、疎開している二本松市内の学校を訪れ「東京への招待」を約束して子供たちを驚かせたニュースは地区誌の前回号(Spring号)でもお伝えしたが、2013年4月26日(金)子供たちが待ちわびた日やってきた。朝早く福島を出発した子供たちは途中休憩をしながら、都内に近づき“東京スカイツリー”が見えてくると歓声が上がった。浅草の“花やしき”に到着、いろいろな乗り物に乗ったり、お化け屋敷を見学したりして楽しんだ。昼食後、東京スカイツリーに向かい、地上450メートルの展望回廊から見た東京の様子に大感激、同行した先生方にとってもいい息抜きになったようです。浪江小学校は震災の前に全校で560名の生徒がいたそうだが、震災後ばらばらになり、昨年同クラブが訪問した時には全校生徒が35名となっていた。さらにこの“東京への春の遠足”への参加者は卒業者を除く17名となっていた。なお、今年の入学生徒は0名。まだまだ、様々な支援が求められている。



女性会員セミナーを実施

5月15日

地区会員増強委員会

2013年5月15日(水)地区会員増強委員会は千代田区の霞が関ビル35階にある「レストランけやき」において「女性セミナー」を開催した。本セミナーは「女性セミナー」ということで開催されたが参加者は女性、男性それぞれ約半数で総勢230名が参加した。地区内の会員増強モデルクラブが表彰され、円卓にて自己紹介、そして自クラブの会員増強について話し合った後、様々な会員増強に関する意見交換が各テーブルで行われた。また、この日はテレビ朝日の報道番組でニュースキャスターを務めた若林正人氏の講演があり、同氏の「女性の素晴らしさ」に関する意見に熱心に耳を傾けていた。その後参加者は、ディック・ミネJr. (L三根敬男)、L鈴木智子、L河津延樹らのシャンソンライブを楽しんだ。(レポートL後藤裕文)



会員増強 未来への道を問う!

ずったもんだはあっても
この日本とライオンズクラブには
女性の力が重要!

講師 若林 正人 氏

2013年5月15日(水) 17:15～20:15(受付17:00～)

会場 レストランけやき 会場 ¥7,000
東京都千代田区霞が関3-2-5
霞が関ビル35F
TEL: 03-3581-0121

- ◆モデルクラブ表彰
- ◆円卓懇話会
- ◆シャンソンライブ ディック・ミネJr.
鈴木 智子
河津 延樹

ご来場にはディック・ミネJr. CDプレゼント

ライオンズクラブ国際協会 330-A地区 会員増強委員会



IT(ホームページ)セミナーを開催

5月21日

地区IT合理化・事務局緊急対応委員会

2013年5月21日(火)地区IT合理化・事務局緊急対応委員会では、去る4月1日(月)より330-A地区のホームページが刷新されており、刷新されたホームページの機能説明、クラブやメンバーからのアクティビティ投稿方法、そしてeMMRサバナによる各種登録方法等のセミナーが開催された。地区ガバナー出席のもと、各クラブメンバーや事務局員など25名が参加した。出席者の8割がPCやタブレット端末、iphoneなどを持参した。WiFi等を利用してインターネットにアクセスし、新HPの利便性機能などを体験した。(同委員会レポート)



東京中野ライオンズクラブに7名が入会

5月10日

東京中野LC

東京中野ライオンズクラブではメンバーのL麻沼雅海(東京商工会議所中野支部会長)の紹介で一度に7名の新入会員が入会し、2013年5月10日(金)賑々しく入会式が行われた。L麻沼雅海が地元の青年会議所の卒業生らに声をかけ実現したもので、同氏が熱心に勧誘した成果である。これで同クラブは在籍者が72名となり再び地区内では最大のメンバーを擁するクラブとなった。来期、同クラブでは結成50周年を迎える。新入会員・L花堂浩一、L磯長弘美、L河崎幹雄、L正村宏宏、塩澤清俊、L高橋万里子、L上原勲(アルファベット順)



昨年に続き江戸川区の子供たちを対象に「ツリークライミング」を実施!

5月26日

地区青少年育成レオ・ライオンズクエスト委員会、江戸川地区5クラブ

地区青少年育成レオ・ライオンズクエスト委員会では、東京江戸川ライオンズクラブほか江戸川5クラブと共に、今年で2回目の開催となる「ツリークライミング体験会」を2013年5月26日(日)江戸川区の東京都篠崎公園内で公園を管理する東京都公園協会、ツリークライミングジャパンの協力を得て実施した。この日参加した子供たちは6歳以上が原則だが、当日は4歳の幼児が参加を希望して受け入れたとのこと。また、最高齢は50歳代の男性が3名参加した。子供から大人まで合計67名の参加者を得て行われたが、皆、満足した様子で、ほとんどが次回の開催予定を尋ねていた。また、参加者を見守る保護者らも子供たちの喜ぶ姿を嬉しそうに撮影していた。イベント企画の中心的な役割を果たした同委員会のL連沼建治委員長も「子供たちが満足して喜んでくれる企画は、我々にとってうれしい。今後も続けられると思う」と話しており、江戸川地区の5クラブもこうした奉仕活動を今後も継続したいとしている。



東京江戸川中央ライオンズクラブが40周年

5月24日

東京江戸川中央LC

東京江戸川中央ライオンズクラブは2013年5月24日(金)江東区内の“東武ホテルレバント東京”においてチャーターナイト40周年記念式典、並びに祝宴を開催した。江戸川区長や衆議院議員平沢勝栄氏らから祝辞を受け、地区ガバナー、元国際理事、仙台いずみライオンズクラブ会長らもお祝いに駆け付けた。また、記念講演として同クラブが江戸川地区5クラブとの共同アクティビティとして地区青少年・レオ・ライオンズクエスト委員会と共に青少年育成事業として実施している「ツリークライミング」の日本での普及者でツリークライミングジャパン代表でもある中部大学教授のジョン・ギャスライト氏による「障害を持った子供たちへのツリークライミング指導」など同氏のツリークライミングを通じての青少年育成活動が紹介された。この後行われた祝宴ではアントニオ古賀氏の歌と演奏や、中国雑技のパフォーマンスを楽しんだ。この日の式典と祝宴には友好クラブメンバーや地区役員など約260名が参加した。



日本ライオンズ50周年記念の「物故ライオン芳名簿」を奉納

6月3日

地区ガバナー一行

日本ライオンズ50周年記念の際に作成された「日本ライオンズ50周年記念物故ライオン芳名簿(地区)」が高尾山上の有喜苑にある仏舎利に奉納された。この塔内には仏教国である日本の未来を担う子供たちの健やかな成長を願って、シャム王室より日本ボーイスカウトの前身である少年団日本連盟に贈られた真正仏舎利が奉納されており、わが国には現在二尊のみ存在する一尊の真正仏舎利とのこと。先のパレスホテル改築の際に日本ライオンズ発祥の記念碑はパレスホテルの敷地内に戻され、50周年記念物故ライオン芳名簿はキャビネット事務局にて保管されていたもので、今後10年ごとの書き換えも検討されている。2013年6月3日(月)地区ガバナー一行は高尾山を訪れ、今期実施した「高尾山の自然を守る植樹の会記念碑の設置や寄贈したベンチ」などを確認するとともに、参詣者の護摩祈禱を受けて芳名簿を奉納した。



高尾山の自然を守る植樹の会

3月27日

地区環境保全委員会

2013年3月27日(水)高尾山にて、地区環境保全委員会による「高尾山の自然を守る植樹の会」が開催された。当日は小雨が降り、肌寒い天候にも関わらず総勢約130名の地区メンバーや関係者が出席した。今期はライオンズクラブ国際協会のウェインA.マデン会長も環境保全のための植樹活動と呼びかけており、阿久津隆文330-A地区ガバナー、330複合地区ガバナー協議会議長及び330-A地区役員ら参加者たちは雨で足元の悪い高尾山の山中で東京都森林組合職員の指導のもと熱心に植樹に取り組んだ。(レポート同委員会)



檜原村数馬地区にある中央区の森に協力

4月17日

第2リジョン有志クラブ

東京都中央区は地球温暖化対策事業として東京都西多摩郡檜原村の数馬地区にて森林保全活動を行っており、この「中央区の森」では間伐、下草刈り、植樹などを区内の事業者や団体に呼びかけを行っている。平成24年からは数馬地区に加え新たに南郷地区でも人工林の間伐や植樹などの森林保全活動を行っており、中央区から要請を受けたライオンズクラブでも第2リジョンの有志6クラブが、植樹活動などを実施した。有志クラブからの資金でイタヤカエデ、ヤマザクラ、イロハモミジ、ヤマボウシの苗木500本を購入し2013年4月17日(水)メンバーら約20名が参加してバスをチャーターして檜原村を訪れ、檜原村村長、中央区の環境土木部長と共に植樹式を行った。



ファミリーナイトに300名が集まる

6月1日

地区家族会員・ライオンズカード推進委員会

2013年6月1日(土)、地区家族会員・ライオンズカード推進委員会が国際協会のプログラムとして“家族会員の親睦と会員維持・増強”などを目的に企画していた「ファミリーナイト」が港区の“ニュー山王ホテル”において行われた。当日は地区内のメンバーが家族や友人などを誘い合わせ総勢300人以上(同委員会の発表によると304名)が集まり、歌や音楽を楽しんだ。同委員会では今期“男の料理教室”“炊き出し体験”などの企画を実施してきたが、この“ファミリーナイト”を最終目標に1年間活動を続けてきた。挨拶に立った小川委員長は「大勢集まってくれてうれしい、家族会員に理解と協力を」と話し、地区ガバナーも、パスポートコントロールで出入りする同ホテルでの晩餐会に、「まるでガバナー晩餐会のように」、「家族会員は正会員です。ぜひ理解と普及を」と呼びかけた。



東京荒川ライオンズクラブが50周年

5月18日

東京荒川LC

2013年5月18日ホテルラングウッドにおいてチャーターナイト50周年記念の式典並びに祝宴を実施した。式典や祝宴には荒川区長ほか多くの来賓やライオンズクラブ330-A地区の役員ら総勢約300名が参加して盛大に行われた。



第14回東京都障がい者スポーツ大会を支援

6月1日～2日

地区社会福祉・障がい者支援委員会

2013年6月1日(土)～2日(日)両日「第14回東京都障がい者スポーツ大会」陸上競技(知的部門)が開催され330-A地区社会福祉・障がい者支援委員会が中心となり応援した。当日は両日も好天に恵まれさわやかな日となった。「駒沢へ万歳に行こう!」を合言葉に一日目は、約300名の地区内メンバーが選手の応援に駆けつけた。表彰式での選手の誇らしげな表情、そして笑顔撮影しようと選手の父母ら観客関係者がスタンド最前列まで駆け寄って声をかけるシーンも多くみられ、「選手と観客ライオンズメンバーが一つになれた」と参加メンバーが語っていた。二日目日曜日にも晴天に恵まれトラック種目とともに走り幅跳び、高跳び、遠投などのフィールド種目も多数行われ、この日も応援のメンバーは、200名を超え、客席ではカラフルな応援団が競技選手へ熱い声援を送り大会を盛り上げた。(レポートIT合理化・事務局緊急対応委員会)



地区内クラブだより

東京八王子いちょうライオンズクラブが「チャリティーボウリング大会」を開催

3月31日

東京八王子いちょうLC

2013年3月31日(日曜日)14R1Z 東京八王子いちょうライオンズクラブ(メンバー数34名)が、八王子市内の高尾スターレーンにおいて留学生助成・障害者施設助成を目的に「チャリティーボウリング大会」を開催した。

留学生への助成活動はクラブ結成(1987年5月)の翌年より実施されている。八王子市内の大学に学び、大学側より推薦される、生活が少し困窮気味の学生を対象に申請書に基づき、クラブ内にて検討し面接後に助成学生として決定する。

ボウリング大会を通じての支援は今年で6回目、今回は参加可能な留学生3名(インドネシア出身、モンゴル出身、中華人民共和国出身)を含む96名で行われた。

定刻の15:00大会会長の挨拶後、森屋会長、留学生など6名で始球式が行われ、5分間の練習プレー後、開始のホイッスルが止むや否や一斉にピンがはじき飛ぶ音、ガッツポーズ、頭を抱える、ハイタッチなどのパフォーマンスで会場は一気に盛り上がった。

留学生の中にはボウリングが初体験と初めは少し緊張気味の人もいたが、会場の熱気に飲み込まれゲームを楽しんでいた。

ゲーム終了後は同会場で表彰式が行われ、表彰前に留学生の一人一人に支援金が手渡された。

留学生を代表してインドネシア出身の学生が挨拶「今は春休みでバイトバイトの忙しい毎日ですが、今日は本当に楽しめました、ライオンズクラブの皆さんには本当に感謝します。」と話していた。

そして程なく始まった抽選会、メンバーが持ったチャリティーBOXにチャリティー後、豪華景品が当たる抽選会で更に盛り上がった。

これまでに支援をした留学生の中には、帰国後も交流を続けている

方々が多く、多岐に亘る交友は実に楽しいとチャーターメンバーの一人が話していた。

又、ボウリング大会の収益金の一部は、毎年12月に市内の障害者施設の方を招きメンバーの家族同伴で行う「クリスマスパーティー」において「助成金」として直接手渡している。もちろん今年も12月に実施予定、メンバーのみならず家族の皆さんも含め今から楽しみにしているようだ。(レポートL高橋美作)



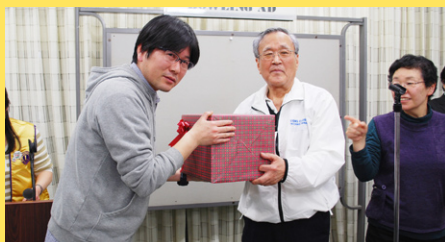
第四回福祉ボウリング大会

3月9日

東京荒川LC、東京北LC、東京赤羽LC、東京荒川西LC、東京中央南LC

平成25年3月9日(土)7R1Z、荒川LC、北LC、赤羽LC、荒川西LC、中央南LCの5クラブは、毎年恒例合同アクティビティとして福祉ボウリング大会を、王子サンスクエアにて開催した。荒川区より例年通り聴覚障害者の方々等招待した。当日はメンバーと障害者の方々で混合でグループを組み得点を競いあい、ストライクを出した障害者の方とハイタッチを交わすメンバー達と白熱したゲームを展開した。聴覚障害者の方の一人は「毎年、この催しを楽しみにしている。ボウリングはなかなかうまくいかないけれど皆さんと一緒にゲームが出来て楽しい、来年も必ず来ます」と笑顔で話した。ゲーム終了後の成績発表、表彰式と懇親会場では大きな笑いにつつまれながら、お互いの健闘を称え合い、楽しい時間を共有した。小島7R1ZCPからは「今回でこの催しも4回目となり、障害者の皆さんとプレーする事を我々も毎年楽しみにしている。また来年会いましょう」と障害者の方々に

語った。5クラブはこのアクティビティは、今後も継続する。



地区内クラブだより

第2回“福祉音楽祭in練馬”を開催

4月18日

東京石泉LC

東京石泉ライオンズクラブは昨年に続き練馬区と練馬区社会福祉協議会の後援を得て、2013年4月18日(木)練馬文化センターにおいて「第2回福祉音楽祭 in 練馬」を開催した。この福祉音楽祭は同クラブが昨年初めて、地元練馬区の社会福祉施設関係者を励ますために企画して成功させた催しで、2度目の実施となった。この日はさわやかな春空が広がる好天気となり、午前からはまる音楽祭に多くの人が集まった。練馬区長やライオンズクラブ地区ガバナーが来賓として挨拶したのち、“あかねの会”“つくりっこの家”“白百合福祉作業所”“かたくり福祉作業所”など区内の社会福祉施設に通う人達や関係者が様々な音楽や歌、ダンスなどを披露した。主催した同クラブのメンバーらは「今後も喜んでもらえるなら継続して実施したい」と話している。



心と癒しの支援活動

4月7日～8日

東京GAIALC

東京GAIALCライオンズクラブは東日本大震災支援アクティビティの一環として、30回目の記念支援活動を、去る2013年4月7日(日)、8日(月)の二日間にわたり宮城県石巻市の北上地区“にっこりサンパーク仮設住宅”及び“特別養護老人ホームきたかみ”などで実施した。今回はオリンピック陸上選手の強化トレーナーを務めた経験のあるスタッフ5名と、同クラブメンバー7名が参加した。会場の“仮設にっこりサンパーク団地集会所”では鍼灸や指圧、ヘッドマッサージ、フットマッサージなどのサービスを実施した。さらに同クラブと共に支援活動を続ける音楽グループ「ハート・トゥ・ハート」の歌と音楽やダンスを楽しんだ。こうした支援活動は現地でも大変な人気を呼んでおり、同グループの支援活動は、一昨年の東日本大震災以降ほぼ毎月のように福島県、宮城県などで続いている。



フィリピンにランドセルを送る

6月4日

東京大森LC

東京大森ライオンズクラブでは、大田区内の高校生奨学制度や、薬物乱用防止教室、あしなが育英会支援など青少年の健全育成に関わる事業を多く実施しているが、昨年からさらに、交流のあるフィリピンのライオンズクラブを通じて現地の子供たちにランドセルの中に学用品や日用品を詰めて送って喜ばれている。昨年は35個を贈ったが、今年は合計84個ものランドセルに学用品、日用品をいっぱい詰めて送っている。



空手道で青少年育成を

3月17日

東京法政LC

東京法政ライオンズクラブは2013年3月17日、町田市の法政大学多摩キャンパス・体育館アリーナを会場に「第2回ライオンズクラブ杯争奪ジュニア空手道大会」を開催した。

当日は、幼児から中学生までの選手、父兄、関係者等約500名が参加。試合は、個人の型と組み手の試合と参加団体の対抗戦である。次第に試合にも応援にも熱が入って『前に出る、下がるな、攻めろ!』と応援席からも檄が飛び、大いに盛り上がってきた。今日のために練習をしてきた選手もいて熱戦が繰り広げられた。

表彰式では、団体戦優勝者にはライオンズ杯が、型、組み手の個人戦では1～3位の選手にカップが贈られた。式の終了後には、障害者スポーツ振興の機会として障害者による型、組み手の演武も行われて、会場は大きな拍手に包まれた。

この活動は、正しい青少年育成を目指しており、日本古来の武道、空手を学ぶことによって健全な日本人、真の国際人を育成しようと企

画、実施しているもの。「来年は10周年となるのでさらに充実し、クラブのメイン・アクティビティとして定着させたい」と、同クラブ会長は話していた。(レポート東京法政ライオンズクラブ)



町会と連携して献血を呼びかけ

5月14日

東京隅田川LC

2013年5月14日(火)東京隅田川ライオンズクラブ(メンバー数12名)は地元の墨田区千歳三丁目町会と合同で町会にある信越化成工業株式会社駐車場にて献血呼びかけ活動を行った。町会との合同活動として毎年行われており、地元企業の協力を得ている。この日の献血者は40名。



西東京市・市長の丸山浩一氏が入会

5月28日

東京田無LC

2013年5月28日(火)東京田無ライオンズクラブの第二例会に於いて、本年2月に19万人の人口をかかえる西東京市の市長に就任された丸山浩一市長(65歳)が、入会された。同氏は東京慈恵会医科大学卒業後、心臓血管外科を専門とし、「東京都衛生局」「東京都児童相談センター所長」を歴任された。

入会の挨拶で「We Serve の精神は、趣味のラグビーと相通じるところがある」と同氏は述べ、メンバー一同歓迎した。

西東京市の市長の入会で、東京田無ライオンズクラブのさらなるアクティビティが楽しみである。(レポートL増田正明)



地区内クラブだより

年に7回の献血呼びかけ活動

5月28日

東京上野LC

東京上野ライオンズクラブでは、クラブ発足当時から続いている献血活動を地道に継続している。2013年5月28日(火)足立区の梅田地域学習センター、梅田区民センターなどがある足立区民施設エル・ソフィアの学習室3室に於いて行われた。この日は同クラブ幹事のほかクラブのメンバー数名が、献血者の受け付けや案内係を務めた。街頭での献血呼びかけとは異なり、同クラブのメンバーが経営する会社(ココスナカムラ)の従業員や取引先などにも呼びかけ、日本赤十字社も近隣地区にチラシなどを配布して一般の人にも呼びかけた。この日はココスナカムラ社の会長、社長も受け付け業務を行ったこともあり一日で166名の献血者があった。日本赤十字社の話によると毎回150人から250人ほどの献血者があるという。同クラブでは足立区内で年に2回活動を実施しているほか、台東区内の朝日信用金庫の本店、西町支店、船堀支店(江戸川区)、上野公園内など年間7回活動を実施している。同クラブ幹事は「献

血活動はクラブの代表的な活動だ」と話している。



宮城県南三陸町への継続支援

5月26日

東京世田谷LC

東京世田谷ライオンズクラブは震災被災地支援として、宮城県南三陸町に継続的に支援を行っている。同クラブでは2011-2012期に、現地に何度も足を運んで要望を伺った結果、2012年3月に南三陸志津川ILCとともに、津波で作業場を流された障害者施設「のぞみ福祉作業所」に対して紙漉き機械のセットを寄贈した。この紙漉き機械は牛乳パック・酒パックから和紙ハガキを製造するためのもので、この機械の導入で和紙ハガキは品質、生産量とも大幅に向上したという。今ではこの紙漉きの作業部屋には「笑はがき工房 世田谷」の看板がかかっている。現地で実際に聞いた要望に基づいて行うアクティビティは真に喜んでいただけるという、まさにその証をみて、同クラブメンバー一同深く感動したという。同クラブでは、今期も5月26日に開催された「復興市」に向くなど、何度も訪町を続けながら、東京でも南三陸町グッズの販売や福祉作業所の見学ツアー開催など継続的にアクティビティを行っており、今後も続けていくという。



「第25回チャリティーダンスパーティー」を開催

4月5日

東京高輪LC

東京高輪ライオンズクラブでは、毎年チャリティーダンスパーティーを開催し、その収益金を社会福祉施設などに寄付している。今年は2013年4月5日(金)品川区の品川プリンスホテル・メインタワーにて開催した。例年夕方5時半にドアオープンで開始していたが、今年はこれより先に午後2時から午後4時までの2時間、視覚障がい者の方たちを招致して生演奏でダンスパーティーを楽しんでもらった。この模様は地元のケーブルテレビなどでも紹介された。参加者からは「とても楽しかった」「ありがとうございました」「来年もぜひ開催してください」と感謝されていた。その後の5時半からのパーティーには約160名の人たちが参加し、ダンスのほかにもゲームや抽選会を楽しんだ。



第96回ライオンズクラブハンブルク国際大会 2013年7月5日(金)~7月9(火)

ハンブルク市概要

ドイツ連邦共和国の北に位置する。時差は8時間。7月の平均気温は、最高気温22℃ 最低気温13℃

市内の交通手段

●電車

ハンブルク中央駅を中心に、Sバーン(電車)・Uバーン(地下鉄)路線が発達しており、安心して乗車できる。

※乗車の際の注意点自動券売機で切符を購入するが、改札がない。抜き打ちで提示させられる。3回持っていないことが見つかったと前科になる。乗り降りの際、電車の扉は自分で開ける。



●バス

近場を回るには便利。

※電車とバスの切符は共通

近距離乗車券	1.4 ユーロ
1日乗車券	6.95 ユーロ
3日間乗車券	16.8 ユーロ

●タクシー

初乗り 2.8ユーロ
その後1キロごとに 1.93ユーロ

ハンブルクカード

ハンブルクカードには1日有効のほか、3日間有効、5日間有効なものがある。これは、1枚で大人一人と15歳未満の子ども3人が使用できるというお助めのカード。また、5人までのグループが使えるグループカードもあり。これらのカードでは、市内の美術館や博物館に無料または割引で入場できる。

ハンブルクカード:1日有効€8.90、3日間有効€20.90、5日間有効 €36.50
グループカード:1日有効 €14.50(3日間、5日間有効もあり)

大会主要日程

●7月6日(土) インターナショナルパレード

- ・集合時間:10:45
- ・集合場所:ハンブルク市役所(市庁舎)前(拡大地図参照)
- ・服装:男性 紺又は濃紺の長袖ジャケット・ブレザー、白のトップス(Tシャツ又はポロシャツ)、白又はベージュの長ズボン
女性 紺又は濃紺の長袖ジャケット・ブレザー、白のトップス(Tシャツ又はポロシャツ)、白又はベージュのズボン又はスカート
※帽子・日傘は不可です!お気を付けてください。
- ・パレードのスタート地点・終了地点も地図をご参照ください
- ・パレード参加者には当日集合場所にてパレードのときに付けるリボンを配布いたします。これがないとパレードに参加できませんので、必ず受け取って腕に付けてください!

●7月7日(日) 開会式

- ・時間:10:00~13:00
- ・会場:O₂ワールドアリーナ
- ・交通:参照ください

●7月8日(月)

大会登録

- ・受付時間:10:00~17:00

代議員登録

- ・受付時間:10:00~16:00
- ・会場:共にハンブルク・メッセ

ジャパン・レセプション

- ・開会時間:16:30~17:30
- ・会場:アトランティック・ケンピンスキーホテル(地図をご参照ください)

ガバナー晩餐会

- ・受付:19:00
- ・開宴:19:30~21:00
- ・会場:ル・ロイヤル・メリディアンホテル

●7月9日(火)投票

- ・時間:7:30~10:30
- ※最重要です!無効票にならないように注意して投票をお願いします!



主な場所



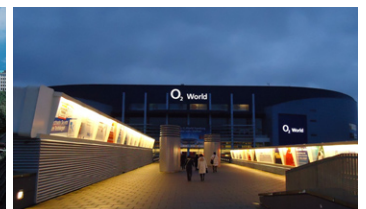
①ハンブルクコンベンションセンター



②ハンブルクメッセ



③内アルスター湖(パレード会場)



④O₂ワールド・アリーナ



⑤ハンブルク中央駅



⑥アトランティック・ケンピンスキーホテル



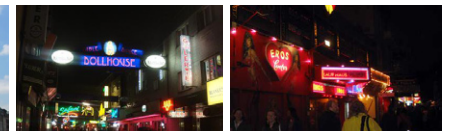
⑦ル・ロイヤル・メリディアンホテル



⑧スカンジックホテル



★市庁舎



★レーパーバーエリア

2013 主要行事日程表

OSEALフォーラム

● 第52回東洋・東南アジア・ライオンズ(OSEAL)フォーラム 2013年 11月7日～10日=MD308 シンガポール・マレーシア

国際大会

● 第96回国際大会 2013年7月5日～9日 ドイツ、ハンブルク
 ● 第97回国際大会 2014年7月4日～8日 カナダ・トロント
 ● 第98回国際大会 2015年6月26日～30日 米国・ハワイ州ホノルル
 ● 第99回国際大会 2016年6月24日～28日 日本・福岡
 ● 第100回国際大会 2017年6月30日～7月4日 米国・イリノイ州シカゴ

編集後記

今期の地区ニュースについて

今期の地区ニュースは、委員会の委員が撮影したライオンの写真を用いているが、第1号の「まだ幼いライオンが先輩ライオンに見守られ育っていく姿」第2号「女性ライオンを仲間に加え、活動の幅を広げていく姿」第3号「多くの仲間と力を合わせて活動する姿」第4号「一人前のライオンに立ち立って堂々とした風格を備え」第5号「誰からも尊敬されるライオンとなっていく」という姿を願いを込めて表現している。

広報活動並びに編集方針について

- ①記事の扱い(紙面の大きさ、場所など)としてはキャビネットだより、地区内クラブだより、ともに地区を代表するようなニュースを優先するとともに、ライオンズクラブ主催のアクティビティに重点をおいて取りあげた。
- ②記事は投稿記事を含め、できる限り取材記事にしており、「です」「ます」表現を避けた。
- ③記事の内容をできる限り正確にするため、取材依頼シートを作成し情報提供を求めたほか、情報収集のためクラブ事務局、クラブ幹事、クラブ会長などに電話で取材した。
- ④投稿による活動ニュースは情報が不足して記事なりにくいケースが多く、正確な情報を得るため電話取材などを行ったが、十分な情報提供が得られなかった。
- ⑤編集は委員会の合意にて編成され、記事あるいは写真など各委員の意見を尊重した。

奉仕活動について

各クラブではクラブ主体の企画や活動は相応のエネルギーが必要となるため、何人かの中心メンバーが他のメンバーの協力を得て、クラブが一体となり力を合わせなければならない。こうしたエネルギーがないと、クラブ主体の活動ではなく、他の団体に寄付、行政に寄付、他団体の企画に協力、相乗りなど、協賛、後援型になり、さらにはメンバーを増やす、新たなクラブを結成するという組織内での奉仕活動に注力することになる。

変革・改革への議論を重ねて地区の活性化を

広報委員会が1年間に取材できるクラブは限られているが、メンバー数の減少などで例会運営すらままならないクラブも多くあるのも事実で、こうしたクラブの活性化は、地区内各地で行われている奉仕活動の内容などを考えた場合、クラブの合併など、変革、改革案を地区内で積極的に議論を重ね、検討されるべきなのかもしれない。

広報委員長 L柴田 誠

情熱と活力溢れた広報委員会

柴田委員長のもと、全委員が一つになって1冊を仕上げる。すばらしい共同作業でお互いの気心も分かってくる。楽しい作業でもある。企画、取材、撮影、原稿、編集、レイアウト、校正、印刷、製本という一連の作業には、相当高度な知識と技術が必要でとても簡単に習得できるものではない。でも、その入り口を覗いて見るだけでも面白かったであろう。私としては口を出すのを止めていたのであるが、かえってよいものがあったと思う。このてん、ラクをさせてもらったと感謝している。それにしても、みんなに読ませる工夫はないものか。

編集長 L宇埜 正純

広報委員会の皆さんと汗を流し、取材した日々。

これぞまさに刎頭の交わり!我が同志永遠であれ!!!

L山口聖之

とても熱心な委員会でメンバーであることを誇りに思っています。今後の地区ニュースのますますの購読率の向上を望みます。

L桂 太郎

最初の取材は、オリンピック招致で石原都知事でした。柴田委員長はじめ広報委員会のメンバー・特派員の皆様と出会えた事、そして22回の委員会開催。お世話になりました。

L増田 正明

初めての委員会で右も左も分からない中、委員長をはじめ他クラブの先輩方より多くを学ばせていただき素

晴らしい経験ができました。

L中吉 淳喜

今期はメンバーが少なく、入稿前はバタバタしてました。しかし、最後に帳尻を合わせることはさすがです。柴田委員長お疲れ様。

L矢追秀紀

2期広報委員を勤めさせていただきました。多くの方々との出会いと、この経験を今後のライオンズ活動にいかしていきたいと思えます。

L新田尚志

二年間この委員会を経験させていただき、造る楽しみを改めて感じました。チームワークも素晴らしい柴田委員長の元、一つになり、充実した1年間を過ごせました。

L後藤裕文

ファインダーの向こうにはこれまでと違ったLCを発見出来、自分の記事が書物になる事に感動。多くの仲間と知り合え感謝です。

L高橋美作

広報委員会に特派員として参加させて頂き楽しい委員会でした。忘れていた多摩動物公園30年ぶりにライオンの写真を撮りにいって其れが表紙になったのは感激でした、有難う御座いました。

L津守 勝男

所属クラブの情報を直接提供する目的で参加した広報委員会でしたが、ライオンズ情報の発信に安易な妥協なしに取り組む、柴田委員長を中心とした活動に感銘を受けました。その中でも、いつも温かく迎えていただき感謝しています。

L秋田克之

地区内のクラブの活動や、キャビネットの活動を知る良い機会になりました。こうした活動を写真や文章にして記録を残す事は、写真を通じて様々な人の姿や気持ちを残すことができる、地味ですが大切な仕事だと思えます。

L秋保朋芳

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
地区ニュース 第5号(For the future号)

The
Lions
News

発行日 2013年6月20日
発行 広報委員会

広報委員会

委員長 柴田 誠(新都心)
編集長 宇埜 正純(巣鴨)
編集委員 山口 聖之(中央南)
桂 太郎(世田谷)
矢追 秀紀(ウエスト)
新田 尚志(麻布)
荒川友美子(千代田)

編集委員 後藤 裕文(法政)
増田 正明(田無)
中吉 淳喜(羽田)
高橋 美作(羽村)
特派員 秋田 克之(武蔵野)
津守 勝男(大森)
秋保 朋芳(小金井)

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザB館2F
TEL(03)5330-3330
FAX(03)5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org